

一緒に考えて、進んでいきましょう！

●思いやりの心を持ち、いじめ・不登校のない楽しい学校生活を送るために、できることは。

本校の子どもたちは、まじめでがんばりやさんで、異学年同士は大変仲がよくやさしい言動がたくさん見受けられます。しかしながら、同学年同士では、馴れ合いの気持ちから発せられる相手を傷つける心ない言動もあります。その都度注意を促し、個別指導をし、傷が大きくなるように対処しています。思いやりのある言動は大いに賞賛し、それが広がるようにしたいものです。



また、いじめは、命と人権に関わる問題、しかも、どの子にも、どの学校にも起こりうる問題という認識を持ち、全児童・全教職員・全保護者で対応することが重要と考えます。そこで、本校では、まずいじめを生み出す素地を作らないために「いじめを出さない、開かれた心の通い合う学級づくり」や、「いじめにつながりそうな言動について共通理解し、いじめの芽を出させない子どもへの関わり方」等の研修を積極的に行い、各学級担任等が、日々の授業を通して支え高め合う学級集団づくりや、子どもたちの自尊感情を育てるように指導・支援を行っています。

また、いじめは早期発見して悪化を防止し、必ず解決しなければいけないという危機意識を持ちながら、いじめの兆候が発見された場合には、情報を共有し、迅速に、組織的に対応を行っております。子どもたち（や保護者の皆様）との日常的な「教育相談」や、定期的な「いじめアンケート」もその一環として行っています。その結果については、保護者の皆様に公表することが目的ではなく、当該の子どもへ指導を迅速に行うために実施しています。

友だちとの衝突やトラブルは、健全な人格形成のためには、ある面で非常に有益で、全面的に否定できるものではありません。しかし、健全な発達の途上にある子どもは、友だちとの衝突はあっても、いじめとは無縁です。

本校では、今後も子どもたちの人格的成長の支援を目的とする、積極的な生徒指導を今後も続けていきます。保護者の皆様にも子どもの様子が気になったらすぐに、学級担任や管理職にお話ししていただけるように、これからもお願いしたいと思っています。

●二極化傾向（あいさつ）解消のために、できることは。

「三つ子の魂百まで」ということわざがあります。明るいあいさつができることは自分のスキルとして小学生の今こそ身に付けておくと、人生が楽しく明るいものになると思います。一人一人の自覚が一番ですが、私たち大人も気を付けていきたいものです。

●発表力の向上、自己有用感の醸成のために、できることは。

自分の考えや意見を発表することに少し苦手意識をもっている子どもがいます。家庭学習の習慣が身に付いていないと感じている保護者の方もいました。

自分の思いや考えをどんな人の前でも、はっきり堂々と話すことができれば一番ですが、話すことは苦手でも、自分の考えをわかりやすく書くことができればいいなあと思っています。

また、学校では先生の話や指示が長くならず、子ども同士の関わり合いの中で学習のゴールに向かっていくような授業を心がけています。最後は、「一人一人が自分のことばで、わかったことやまだ理解できないことなどを発言できる・記録できる」ようになってほしいと思っています。

一人勉強もそれぞれの子どもが自分のスタイルで実践しています。私もノートを見せてもらい、アドバイスをするのが楽しみです。学年が上がるにつれて、写し学習やドリル学習だけにとどまらずに、自分のための学習になってきています。たとえば、「ドリルは①から⑳まで全部やるのではなく、読みの方を見て頭の中で書けなかったり、書く自信がなかったりする漢字だけを書き、そしてその漢字を使った単文を自分で作ってみる。」など、少しずつ量より質の一人勉強に移行していくようにしていきたいものです。



※「学習のタイトル記入」「学習日の記入」「ドリルであれば自分で丸付け」は最低限必要だよとアドバイスしています。

また、友だちと活動することが好きだという本校の子どもたちです。友だちがいてこそその学校生活だと思います。それに、自らの力で克服したり獲得したりしていくことの実感を持たせていきたいです。「あいさつは相手より先に明るくできる」「掃除を一生懸命できる」「いざというときには、ふざけないで真剣に活動できる」「分からないことをそのままにしないで、自分の力で理解するように努力する」など、当たり前前のことを当たり前前にできる人は、みんなのために必ず役に立っているのだよと励ましていきたいと思っています。



そして、何よりも嬉しかったことは、子どもも保護者の方も「太田南小学校が楽しい」「学校の雰囲気がよい」と感じていることです。ありがとうございます。励みになります。

縁があって太田南小学校で、子ども同士・先生と子ども・先生と保護者のふれ合いをもつ機会ができました。

よい人間関係の絆を大事にし、これからも「わかりやすく勉強を教えることに努め」「学校生活や心身の健康等について相談しやすい」教職員でありたいと思っています。

さらによい太田南小学校となっていくように、子ども・保護者・教職員それぞれ力を合わせて進んでいきましょう

(文責：校長)